

【作家及び作品について】

○ふじい忠一（ふじい・ちゅういち）

1941年奈良県生まれ。20歳の頃から木彫を始める。33、34歳の頃に、木の生命力を表現する方法を探究する中で、木を曲げる表現を始めた。1980年代はじめに東京で作品を発表して話題になり、85年にはニューヨーク画廊で個展を行う。その後、国内の美術館で企画された現代美術展に招待出品され、1986年ロサンゼルス郡立美術館が作品を収蔵。2000年、愛知県美術館がテーマ展「ふじい忠一」を開催した。今回、愛知県図書館に展示する作品は、1990～91年にアメリカ・カナダを巡回した「プライマル・スピリット：10人の現代日本の彫刻家」展に遠藤利克、川俣正、戸谷成雄、若林奮らとともに出品した作品で、ふじいの代表作の一つである。



〈Untitled〉 ふじい忠一、1990年、材質：杉、大きさ：W222×D74×H230 c m